

## 広島レモンのブランド化に関する研究成果 ～長期貯蔵技術と新品種イエローベルの普及拡大～

資料提供

平成 26 年 1 月 14 日

農業技術センター果樹研究部

担当 | 中元

電話 | 0846-45-5472

総合技術研究所 企画部

担当 | 伊藤

電話 | 082-223-1200

広島県は、生産量全国一の広島県レモンの強みを生かし、生産量の増加や市場への周年供給、新品種の導入によりブランド化を図っています。

広島県立総合技術研究所では、これまで国産のレモンが流通していなかった夏場、特に 8 月から 9 月に、レモンを出荷できる長期貯蔵技術を開発し、首都圏と広島市内で試験的に販売した結果、高価格で取引され、高い評価を得ました。今年は 30 t 規模と小さいが、JA で取り組む予定です。

また、広島県が育成した新品種「イエローベル」については、今年度内に農業団体を通じて県内の栽培農家に苗木が供給される体制を構築することとし、2 年後に果実を市場出荷することを目指しています。

### レモンの長期貯蔵技術について

- 従来、6 月～7 月にかけて貯蔵による腐敗は少なかったが、8 月、9 月については、腐敗果実の増加や見た目の品質低下により、出荷できていませんでした。
- 今回開発した技術は、鮮度保持効果のある袋で果実を個別包装し、特殊な温度管理により、9 月まで腐敗果率を従来 40 % 程度あったものを 10 % 以下に抑えることを可能にしました。
- 長期貯蔵された果実は試験的ではありますが、高価格で首都圏と広島市内で販売されました。
- 今後は、低コストで同等の長期貯蔵を可能とする包装資材の選定を行い、業務用レモンにも展開できる技術として改良を進めていきます。



### 新品種「イエローベル」について

- イエローベルは、総合技術研究所(農業技術センター)が平成 12 年から育成に取り組み、平成 24 年 3 月に、日本初のレモン交雑種として品種登録されました。(登録番号 21709 号)
- 果実は丸い形状で、種がない、皮が薄く果汁が多い、まろやかな酸味もつことが特徴です。広島レモンのバリエーションを広げ、ブランド向上に貢献する品種として当面は県内において、栽培面積の拡大を進めます。
- 総合技術研究所では、これまで、果実の結実や特性について現地で調査を進めるとともに、レモンと同等の安定した収穫量を確保する栽培技術に取り組んできました。



### 取材対応

総合技術研究所では、画像提供に対応します。

# がんばれ！瀬戸内 広島レモン

～広島県のレモン産地を支援する取組～

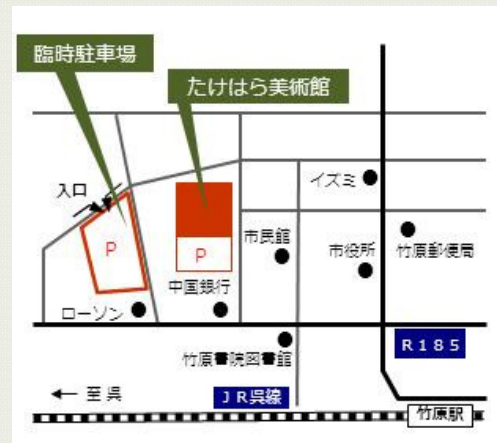


日時

平成26年 **1月21日** (火)  
13:00～15:30 (受付12:30より)

場所

たけはら美術館文化創造ホール  
竹原市中央5丁目6-28 TEL 0846-22-3558  
※入場無料、駐車場有り



基調講演

**食べたい!!と思わせる…五感を刺激する美味しい  
食の作り方～レモンを素材として**

食農連携コーディネーター・フードプロデューサー

広島文化学園短期大学 コミュニティ生活学科 **烏田いづみ** 准教授

発表課題

- |   |             |              |
|---|-------------|--------------|
| ●瀬戸内 広島レモンの歩みと<br>広島レモン利用促進プロジェクトチーム (PT) の取組 | 広島レモン利用促進PT | 中元勝彦         |
| ●周年供給を可能にするレモン長期貯蔵技術のポイント                     | 広島レモン利用促進PT | 赤阪信二         |
| ●レモン生産量1万トン (H32) に向けた長期貯蔵の取組                 | 農林水産局 販売推進課 | 柳生哲希         |
| ●収穫を早めるレモンのマルチ+点滴かん水技術とは                      | 果樹研究部       | 塩田 俊         |
| ●レモン新品種「イエローベル」の栽培方法と食品機能性                    | 広島レモン利用促進PT | 金好純子<br>坂田 勉 |

パネル展示

イチジク株枯病の簡易検出法, ブドウおよびカンキツの新品種, レモンの栽培・貯蔵技術等の研究紹介パネルを展示します。